

平成24年度補正予算(案)の概要

平成24年7月

1. 歳出予算8月補正の内容

政令市加入に伴う人件費負担金及び事務局事務費の増額補正を行う。あわせて事業費について、広域観光振興費及び広域産業振興費の増額補正を行う。

(歳出)

款	項	目	補正額	備考
総務費	総務管理費	一般管理費	30,000	政令市加入に伴う派遣職員人件費負担金及び事務費の増額(4市×1) 派遣職員人件費負担金 28,501(4名分) 事務費 1,499 (内容) 派遣職員4名分 必要備品など購入費 1,499
		a) 財政調整基金費	2,968	積立金(繰越金の1/2)
総務費計			32,968	
事業費	広域文化・観光振興費	広域観光・文化振興事業費	6,000	新) KANSAI 観光 YEAR2013 の実施 パンフレット作成費用 4,732 パンフレット送付等費用 68 海外観光プロモーション事業の政令市加入による対象人員増による増額(4市×1) 1人300千円×4 1,200
	広域産業振興費	農業振興総務費	300	農林水産部発足にかかる初期費用の増額 初期消耗品費 220 郵送料・電話代等 80
事業費計			6,300	
b) 合計			39,268	
b) - a) = 事業純増分			36,300	

2. 上記所要額にかかる財源措置

平成23年度決算剰余金(5,937千円)の1/2を地方財政法に基づき、いったん財政調整基金に繰り入れた後、取り崩して活用する(取り崩しは、決算認定後)。

政令市加入に伴い各府県市の負担金を再計算すると、府県はいずれも当初より減額となる(次ページ(3)参照)。

(歳入)

款	項	目	補正額	備考
分担金及び負担金	分担金及び負担金	負担金	30,364	
繰越金	繰越金	繰越金	5,936	うち2,968千円は財政調整基金へ積み立て
繰入金	基金繰入金	c) 財政調整基金繰入金	2,968	財政調整基金からの繰入れ
d) 合計			39,268	
d) - c) = 負担純増分			36,300	

3. 要補正額

(1) 歳出

①政令市からの本部事務局への派遣職員(各1×4)の person 費等

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	鳥取県	徳島県	大阪市	堺市	京都市	神戸市	計
負担金	3,006	3,006	3,006	3,006	3,006	1,503	3,006	3,006	3,006	2,222	2,222	30,000

②広域観光局事業費増額分

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	鳥取県	徳島県	大阪市	堺市	京都市	神戸市	計
負担金	473	1,005	1,406	1,416	440	312	365	265	61	166	91	6,000

③広域産業振興局(農業)事業費増額分

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	鳥取県	徳島県	大阪市	堺市	京都市	神戸市	計
負担金	18	33	119	66	12	7	9	20	5	6	5	300
①+②+③	3,497	4,044	4,531	4,488	3,458	1,822	3,380	3,291	3,072	2,394	2,318	36,300

(2) 歳入(平成23年度ドクヘリ分について各府県の増減の差が大きいので8月補正にて精算する)。

①23年度ドクヘリ負担金精算分

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	鳥取県	徳島県	大阪市	堺市	京都市	神戸市	計
要精算額		12,890		△10,125		2,341						5,106

②23年度ドクヘリ分を除く精算分(平成23年度剰余金について、負担割合に基づいて案分した。)

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	鳥取県	徳島県	大阪市	堺市	京都市	神戸市	計
要精算額	△58	162	663	320	△40	△60	△157					830
①+②	△58	13,052	663	△9,805	△40	2,281	△157					5,936

(3) 8月補正後負担額

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	鳥取県	徳島県	大阪市	堺市	京都市	神戸市	合計
当初	54,287	104,392	104,388	145,147	53,329	33,956	52,011					547,460
4市加入への分	40,121	89,840	87,084	128,888	39,621	25,494	38,882	32,938	29,021	18,163	17,909	547,460
8月補正※(b)	3,556	△9,007	3,809	14,294	3,499	△459	3,537	3,291	3,072	2,394	2,318	30,364
8月補正後(a)+(b)	43,677	80,833	90,953	143,182	43,120	25,034	41,919	36,229	32,093	20,557	20,227	577,824
当初との差	△10,610	△23,559	△13,385	△1,965	△10,209	△8,922	△10,092	36,229	32,093	20,557	20,227	30,364

※政令市加入に伴い各府県市の負担金を再計算すると、補正増はあるものの、府県はいずれも当初より減額となる

II 広域観光・文化振興

1. 取組みの基本方針（ねらい・視点）

関西は、古代からの伝統や歴史が今も生活の中で生きづいている一方、新たな文化創造の拠点でもあり、さらには、産業やファッション等の先端的集積をも有している。こうした、重層化した日本文化そのものといえる関西の魅力を東アジアを中心に戦略的に発信し、KANSAIブランドの構築と観光誘客の増大を図る。

〔7分野における基本的な取り組み〕

	(H24当初)	(補正額)
広域観光・文化振興（事業費計）	21,272千円	6,000千円
管理費	410千円	
(1) KANSAIブランドの構築		
① 海外観光プロモーションの実施	8,136千円	1,200千円
①' KANSAI国際観光YEARの実施	0千円	4,800千円
② KANSAI観光大使の任命と活用	700千円	
③ 新発見KANSAI百景の選定・活用	2,000千円	
④ ITを活用した観光ルートのPR	4,336千円	
⑤ 山陰海岸ジオパーク活動の推進	1,000千円	
(2) 基盤整備の推進		
⑥ 関西地域限定通訳案内士の運営	1,487千円	
⑦ 通訳案内士（全国）の登録等	1,120千円	
⑧ 関西全域の観光統計調査	2,083千円	

2. 事業概要

(1) KANSAIブランドの構築

① 海外観光プロモーションの実施（9,336千円）

「関西」をさらに魅力ある観光圏としてアピールするため、各府県や関係団体との連携のもと、広域連合長等によるトップセールスなどを実施。関西の持つ多様な魅力を面的に紹介し、KANSAIブランドを発信する。

○ プロモーション内容

- ・広域連合長、委員等によるトップセールス
- ・現地でのセミナー等の開催

・政令市加入に伴い旅費を追加補正

①' KANSAI国際観光YEARの実施（4,800千円）

「アジアの文化観光首都」を目指して国際観光圏「KANSAI」のブランドを世界に発信するため、2013年を「KANSAI国際観光YEAR」と位置付け、オール関西として強力なPR活動を行っていく。

○ 事業の内容

- ・関西の食文化（食材・料理・名産品・食関連イベント）を海外に向けて発信するために必要なPR素材の作成
- ・和食の世界遺産登録に向けたシンボリック事業の展開（平成25年度当初要求）

・関西の食文化を海外にアピール

- ② KANSAI 観光大使の任命と活用 (700千円)
- ③ 新発見KANSAI 百景の選定・活用 (2,000千円)
- ④ ITを活用した観光ルートのPR (4,336千円)
- ⑤ 山陰海岸ジオパーク活動の推進 (1,000千円)

(2) 基盤整備の推進

- ⑥ 「関西地域限定通訳案内士 (仮称)」の運営 (1,487千円)
- ⑦ 通訳案内士 (全国) の登録等 (1,120千円)
- ⑧ 関西全域を対象とする観光統計調査 (2,083千円)

関西広域連合 平成24年度8月補正予算
「KANSAI国際観光YEARの実施」案について

広域観光・文化振興局

1 目的

KANSAIブランドを構築するため、「関西観光・文化振興計画」に基づいて、2013年を「KANSAI国際観光YEAR」と位置付け、官民が連携して、関西の食文化や関連するイベントをつなぎ、内外に向けて強力で発信する。

2 事業内容

○食文化と食関連イベントの結集

- ・四季折々の旬の関西の食材の紹介
- ・年間(1～12月)を通じた既存イベントの掘り起こしと新規イベントの誘発
- ・和食の世界遺産登録に向け、関西の和食アピールを大阪・食博と連携して実施

○PRツールの作成

- ・関西広域連合HPにYEARページを掲載し、参加団体HPにもリンク
- ・業界誌・旅行社向けリーフレット(イベントカレンダー)や、訪日旅行者へのイベントガイドなどを作成・配布

○PR活動の展開

- ・関西広域連合プロモーションほか、参加団体の海外プロモーションでPR
- ・地域振興財団等のファムトリップで海外メディア、旅行社にアピール

_____部分は連合主体

3 推進体制

実行委員会を組織

- ・参加団体で目的と情報を共有。相互に連携し、各の強みを活かして取り組む
- ・政令市加入でより強力な責任主体となった連合(構成団体)を中心に、関経連・経済同友会、関西6商議所、堺・鳥取・徳島商議所、新関西国際空港など

4 補正要求額

PRツール作成経費 4,800千円

リーフレット(5言語、全2,200冊)	1,120千円
イメージポスター	320千円
ホームページ作成	560千円
ミニガイドブック(5言語、30,000冊)	2,800千円

※平成25年度当初予算では、PR経費のほか、大阪・食博連携出展経費を要求
※なお、海外観光プロモーション事業について政令市加入に伴い旅費増(1,200千円)を補正